

② 日本国特許庁 (JP)
 ⑩ 公開特許公報 (A)

⑪ 特許出願公開
 昭55-131176

⑫ Int. Cl.³
 C 23 F 7/08
 B 05 D 3/10

識別記号

庁内整理番号
 7537-4K
 6683-4F

⑬ 公開 昭和55年(1980)10月11日

発明の数 1
 審査請求 未請求

(全 5 頁)

⑭ クロムを含まない金属表面の前処理方法

ドイツ連邦共和国6370オベルル
 ゼル・ドルンバツハシユトラ
 セ35

⑮ 特 願 昭55-17162

⑯ 出 願 昭55(1980)2月14日

優先権主張 ⑰ 1979年2月14日 ⑱ ドイツ
 (DE) ⑲ P 2905535.4

⑳ 発 明 者 デイーター・オツペン

ドイツ連邦共和国6054ロドガウ
 6コルピングシユトラセ11

㉑ 出 願 人 オキシ・メタル・インダストリ
 ーズ・コーポレーション
 アメリカ合衆国48069ミシガン
 州ワールン・フーパー・ロード
 21441

㉒ 代 理 人 弁理士 秋元輝雄 外1名

㉓ 発 明 者 ガール・ランバトザー

明 細 書

1. 発明の名称

クロムを含まない金属表面の前処理方法

2. 特許請求の範囲

(1) 別添図1に示される金属表面を前処理する方法として、金属表面の処理方法とし、2個またはそれ以上の原子層を有する少くとも1種の金属カチオンを含むリン酸塩処理液により処理する方法を用いてリン酸塩皮膜を生成させ、この皮膜に処理液を処理液に浸漬して処理する方法において、前記1.5ないし1.9であり、クロムを含まず、金属リン酸塩は別として水溶性ポリリン酸イオン、リン酸スチレンイオン、メタリン酸イオン、メタリン酸イオンおよびリン酸イオンからなる群から選択された少くとも1種のイオンを含むリン酸塩処理液により金属表面を処理することを特徴とする方法。

(2) 前記リン酸塩処理液がさらに、通常のもしくは

処理液のリン酸イオンを含むことを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の方法。

(3) 2個またはそれ以上の金属カチオンがカルシウム、マグネシウム、バリウム、アルミニウム、亜鉛、コバルト、鉄、マンガン、ロバートおよびランタンからなる群から選択されることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の方法。

(4) 前記リン酸塩処理液がさらに、還元剤を含むことを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の方法。

(5) 前記リン酸塩処理液がさらに、処理液に浸漬された金属表面を含むことを特徴とする特許請求の範囲第2項記載の方法。

(6) 前記リン酸塩処理液がさらに、分液後の金属表面を処理液に浸漬することを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の方法。

(7) メリブデン酸イオン、マンガン酸イオン、バナジウム酸イオン、メタリン酸イオンおよびまたはリン酸イオン、 HPO_4 、 PO_4 、